



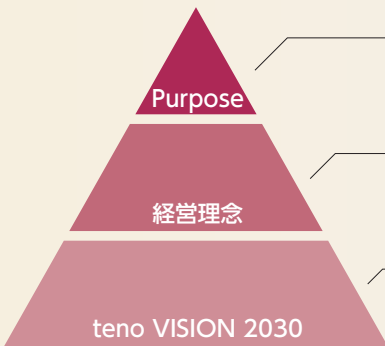
2023年12月期 中間株主通信

2023年1月1日～2023年6月30日



株主のみなさまへ

Purpose 存在意義



(キーメッセージ)
わたし、選んで、生きていく。

「手の」ぬくもりで、安心できる社会を創造する。

私たちは、女性のライフステージを応援します。
私たちは、相手の立場に立って考えます。
私たちは、コンプライアンスを推進します。
私たちは、事業を通して社会貢献致します。

時代に求められるサービスを提供する
プロフェッショナル集団となり、
働き手にとって最も自己実現が可能な
家庭総合サービスグループを目指す。



トップインタビュー

代表取締役社長 池内 比呂子

Q 事業コンセプトと2023年12月期第2四半期の決算内容についてご説明ください。

●事業コンセプト

当社グループは、“女性”が育児をしても、家事をしても、介護をしてもなお、働き続けるためには、「いったい何が必要なのか」を基本に事業展開してまいりました。豊かな社会を築くためには、あらゆる場面でさまざまな発想で多くの知恵を出す必要があります。そういった「より私らしく」と願う女性たちに対してサービスを提供することを事業コンセプトとしております。

女性が活躍する事業展開 ～育児・家事・介護をしても働き続けられる事業～



●2023年12月期第2四半期決算内容

2023年12月期第2四半期の決算は、増収減益となりました。
売上高は7,156百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益は71百万円（同8.0%減）、経常利益は83百万円（同3.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円（同220.1%増）となりました。

Q

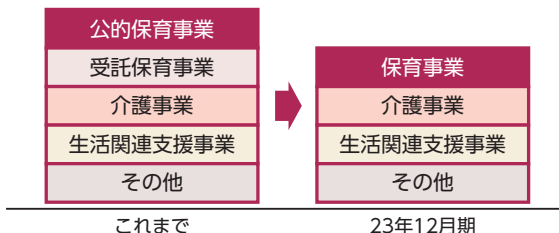
2023年12月期第2四半期における報告セグメントについてご説明ください。

当社グループは、当連結会計年度より、これまでの報告セグメントであった「公的保育事業」、「受託保育事業」及び「その他の一部」を集約し「保育事業」として区分し表示することといたしました。

したがって、当連結会計年度における当社グループの報告セグメントは、「保育事業」、「介護事業」、「生活関連支援事業」の3つとなっております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

〈報告セグメント新規構成図〉



〈2023年6月末 地域別施設別明細表〉

	保育事業						介護事業	生活関連支援事業	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい	その他			
首都圏	35	4	3					24	66
九州	3	10	114	64	33	5	3	2	234
関西東海	9	5	9	5		1	4	19	52
その他								11	11
合計	66		228			6	7	56	363

保育事業

売上高 5,707百万円（前年同期比 3.0%▲）
セグメント利益 322百万円（前年同期比 3.5%▲）

保育事業では、当第2四半期連結累計期間において新規に開設した施設が18施設あり、各既存施設において、保育の質の向上及び効率的な施設運営に注力いたしました。また、2023年4月に保育所を開設及び受託を開始した施設が増収に貢献いたしました。一方で売上原価における労務費や物価高騰の影響による水道光熱費等の経費が増加いたしました。

生活関連支援事業

売上高 983百万円
セグメント損失 ▲15百万円

生活関連支援事業では、株式会社ホームメイドクッキングにおいて、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、料理教室の稼働状況改善傾向にあります。また、物価高騰等の影響により料理教室で使用している材料費などの原価が増加いたしました。また、セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社において、順調に契約数を伸ばしており昨年度を上回って推移しました。

介護事業

売上高 356百万円（前年同期比 27.9%▲）
セグメント利益 26百万円（前年同期比 199%▲）

介護事業では、2022年1月に子会社化しました株式会社フォルテと、2022年4月にオープンしました元気のふる里デイサービス那珂の経営成績が当連結会計期間にフルに寄与したため増収となりました。また、各介護施設における稼働率の向上に注力いたしました。

その他

売上高 108百万円（前年同期比 1.4%▲）
セグメント利益 2百万円（前年同期は9百万円の損失）

その他では、主に幼稚園や保育所等に対する保育人材の派遣及びテノスクールにおける自治体主催の研修事業獲得に注力いたしました。また、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことによって、イベント託児などの利用も増加いたしました。

※セグメント別の業績は、セグメント間取引の相殺前の数値です。

Q

2023年12月期第2四半期の主なトピックスをご説明ください。

2023年
1月

セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得

女性のライフステージに応じた保険サービスの開発・提供を目的として、2023年1月26日に「セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社」の株式を取得して子会社化いたしました。事業内容は、賃貸住宅向けの少額短期保険の開発・販売をしております。また、顧客のニーズに合わせた保険開発を行うことが可能であり、500を超える販売代理店網を有しております。

2023年
4月

株式会社テノ・コーポレーションと株式会社テノ・サポートが合併しました

企業構造のスリム化により経営資源の有効活用と業務効率改善を行い、事業基盤の強化を図ることを目的として、2023年4月1日に当社の100%子会社である「株式会社テノ・コーポレーション」を存続会社とし、同じく当社の100%子会社である「株式会社テノ・サポート」を消滅会社とする吸収合併を行いました。

teno.
CORPORATION

全国展開の
認可保育サービス
【ほっぺるランド】他



小規模
認可保育サービス
【ほっぺるランド】他




teno.
SUPPORT

【院内・事業所内 保育所】



ベビーシッターサービス



テノスクール (tenoSCHOOL)



【学童保育所等】



介護サービス



人材派遣サービス



保活事業



結婚相談所事業


2023年
4月

ほっぺるランド相生橋つくだを新規オープン

2023年4月1日に「ほっぺるランド相生橋つくだ（住所：東京都中央区三丁目2番）」を新規オープンしました。

●保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が得られる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。



●業績予想

2023年12月期は、増収増益予想です。

売上高は14,700百万円（前期比21.2%増）、営業利益は200百万円（同29.7%増）、経常利益は190百万円（同21.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は120百万円（前年は27百万円の損失）を見込んでいます。

※2023年8月10日に通期業績予想の修正を行っております。

修正前は、売上高15,700百万円、営業利益320百万円、経常利益285百万円、親会社株主に帰属する当期純利益137百万円を見込んでおりました。

〈増収・増益予想〉

（単位：百万円）	2022年 12月期実績	2023年 12月期予想	増減率	増減額
売上高	12,128	14,700	+21.2%	+2,572
営業利益	154	200	+29.7%	+46
経常利益	156	190	+21.3%	+34
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲27	120	—	+147

●業績修正の理由

保育事業に関して、認可保育所における入所児童数が想定よりも少なかったことや事業所内保育所における稼働が想定よりも少なかったこと等により、売上高は当初想定を下回る見込みであり、利益面に関しては、売上高の減少やM&A関連費用の発生が主因となり、各段階利益の当初予想を下回る見込みであるからです。

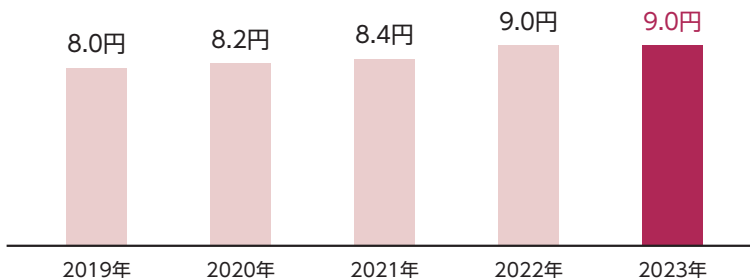
ただし、入所児童確保施策の実施やグループ全体でのコスト削減に取り組んでおり、期末までの業績数値に少しでもプラスに影響を与えることができるよう尽力してまいります。

●配当予想

配当金は2022年12月期の9.0円と同じく2023年12月期も1株当たり9.0円を予定しております。

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

〈2023年12月期 配当金予想〉



Q

tenoのPurposeと長期ビジョンについてご説明ください。

「わたし、選んで、生きていく。」ということで、女性が育児・家事・介護をしても働き続けるためには、たくさんの選択肢が必要だと思っています。そのような意味で、私たちはがんばっている女性たちを私たちの「手の」ぬくもりで支えていきたいと考えており、それが会社の存在意義、Purposeだと思っています。

また、当社のPurposeについて、以下のリンクもご参照いただけますと幸いです。

<https://youtu.be/2DTmnxbt9cM>



「teno VISION 2030」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

働き手視点

- > 適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- > グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- > 客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- > 人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- > グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの
実現により、
選ばれる
企業集団へ

顧客・クライアント視点

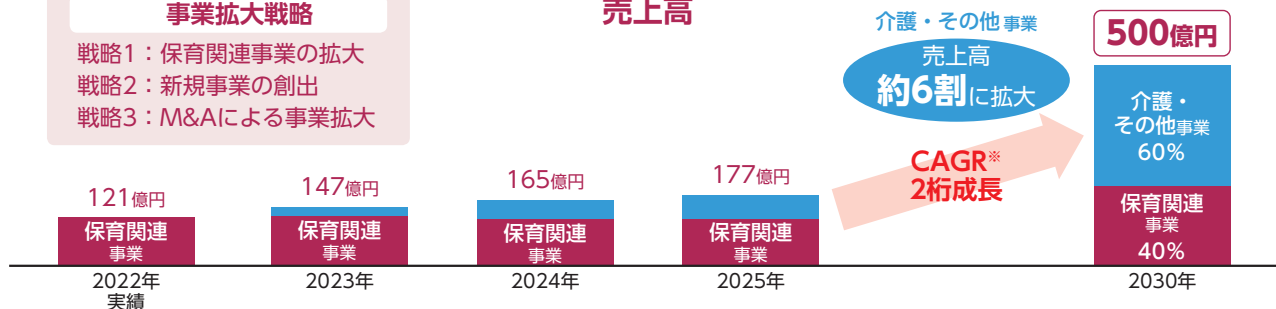
- > 便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- > 時代のニーズに合った付加価値の提供
- > テノ、グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- > 極めて透明な情報開示と財務の健全性
- > 対価に対するサービスレベルが適切である
- > 個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ

事業拡大戦略

- 戦略1：保育関連事業の拡大
- 戦略2：新規事業の創出
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

売上高



※CAGR：Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

Q

直近のトピックスをご説明ください。

2023年
4月

バイリンガル幼児園「KDI福岡アイランドシティ」の開園を発表



2024年4月1日に「KDI福岡アイランドシティ（住所:福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目）」を新規開園予定です。

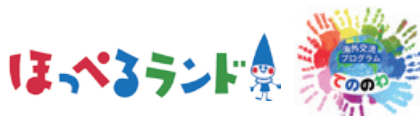


●教育理念

子どもたち一人ひとりの個性を大切にし、園での英語教育、知能教育、運動指導、ライフスキル教育など、さまざまな体験を通じて、認知能力と非認知能力を基盤とした「自省力」を育み、子どもたちが「自分で考え、自分で決めて、自分で行動する」ことで自ら「人生をデザインする力」や、たくさんの選択肢の中から自分の「好き」「得意」を見つけ、園生活を通して磨き、輝かせることで「自省力」を育んでゆきます。

2023年
5月

海外交流プログラムの開始



テノ. コーポレーションが運営する「ほっぺるランド」にて保育みらい研究所 Compassの<共創>の取り組みの一環として海外交流プログラムを開始しました。

Compassの<共創>では、「選ばれる」保育園づくりを推進しており、ほっぺるランドと各国（オーストラリア、シンガポール、ケニアなど）をリモート中継し、国際交流を通じて、「保育園での豊かな実践の共有と学びあい」を高めていきます。

2023年
8月

株式会社ウィッシュの株式取得



2023年10月3日に、株式会社ウィッシュの子会社化及びウィッシュの100%持株会社である、株式会社子育てサポートを孫会社化いたします。

同社の事業内容は、児童発達支援、放課後等デイサービス等の事業所の運営及びフランチャイズ事業をしております。現在、東海地方で8施設の事業所を運営、フランチャイズ事業の加盟数は27社（43施設）を有しております。

Q

最後に株主の皆様へ一言お願いします。

新規事業の開発とともに、パーパス経営を軸とした社会貢献と収益を両輪で取り組み、企業価値を高めてまいりたいと思います。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

会社概要

商 号 株式会社テクノ・ホールディングス
資 本 金 454百万円
所 在 地 〒812-0036
福岡県福岡市博多区
上呉服町10番10号
呉服町ビジネスセンター5F
主な事業内容 子会社の経営指導

役員

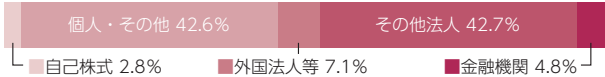
代表取締役社長 池 内 比呂子
取 締 役 岡 田 基 司
取締役(社外) 渡 辺 顯 好
取締役(社外) 柳 瀬 隆 志
監査役(常勤) 小 田 隆 史
監査役(社外) 古 賀 光 雄
監査役(社外) 宮 野 祐 輔

株式の状況 (2023年6月30日現在)

発行可能株式総数 13,320,000株
発行済株式の総数 4,690,500株
(注) 新株予約権(ストックオプション)の行使により、発行済株式の総数は4,800株増加しております。

株主数 2,628名

所有者別株式分布状況



連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

科 目	2022年12月期 2022年12月31日	2023年12月期 2023年6月30日
流動資産	3,989	3,811
現金及び預金	2,174	1,766
売掛金及び契約資産	1,147	1,132
固定資産	5,333	5,411
うち有形固定資産	1,728	1,581
うち無形固定資産	1,865	2,011
うち投資その他の資産	1,739	1,818
資産合計	9,323	9,223
流動負債	3,739	3,865
うち短期借入金	1,140	1,139
うち1年内返済予定の長期借入金	652	531
うち未払金	801	675
固定負債	3,402	3,136
うち長期借入金	3,137	2,858
純資産	2,180	2,221
負債・純資産合計	9,323	9,223

連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

科 目	2022年12月期 2022年1月 1日から 2022年6月30日まで	2023年12月期 2023年1月 1日から 2023年6月30日まで
売上高	5,929	7,156
売上総利益	894	1,094
営業利益	77	71
経常利益	86	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	81

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	2022年12月期 2022年1月 1日から 2022年6月30日まで	2023年12月期 2023年1月 1日から 2023年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	242	187
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲489	▲152
(フリー・キャッシュ・フロー)	▲247	34
財務活動によるキャッシュ・フロー	97	▲443
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲149	▲408
現金及び現金同等物の期首残高	1,745	2,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,595	1,704

株主メモ

事 業 年 度 毎年1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
期 末 配 当 金 毎年12月31日
株 主 確 定 日 (中間配当をする場合は6月30日)
単 元 株 式 数 100株
公 告 方 法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。

公 告 掲 載 URL <https://www.teno.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
福岡証券取引所 本則市場

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
tel : 0120-288-324 (フリーダイヤル)
受付時間 平日9 : 00~17 : 00
詳しくは、下記のページにてご確認ください。
<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 7037LmN2



スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
アンケートに参加してください。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を呈呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
<https://www.pronexus.co.jp/>

アンケートのお問い合わせ
「コエキク事務局」
✉ koekiku@pronexus.co.jp